



古河日光退職者の会
日精会
発行責任者 薄井和彦
編集責任者 石川馨一

薄井新体制出航

日野・富本両氏を相談役に

平成27年度の「日精会第44回定期総会」が、4月1日(水)午後2時より日光総合会館(安川町)中会議室で開催され、出席者は38名であった。後日の役員会議で決定した薄井会長を中心とする新体制での船出となった。

平成26年度活動報告、決算報告および監査結果、平成27年度活動方針と予算(案)は、いずれも全会一致で承認された。

役員改選については、選考委員会としての結論には至らなかったものの、最終的には、その経過を踏まえて、細部調整をすることで

役員会議に一任され、4月8日、新役員12名の決定をみた。

新年度から相談役を設けることになり、日野前会長と富本前副会長が就任した。これにより、会運営の円滑化と発展のため、経験に裏打ちされたアドバイスをもらうという新たな局面に。(会則改訂

280名
4月現在
会員状況

新役員陣容

相談役	日野亮治
相談役	富本伸治
会長	薄井和彦
副会長	太田啓三
副会長	篠原勝男
副会長	鈴木重行
副会長	荒川栄子
事務局長	中村竹夫
編集部長	石川馨一
会計	福田三男
会計監査	高久一彦
会計監査	田中一男

総会に先立ち、「来賓の方々からは、ご挨拶をいただいた。◆県高退連：三浦健治会長◆古河

会長就任にあたり

日精会の皆様には益々「清祥のごとく、心よりお慶び申し上げます。さて、私ごと、日野会長の「後進に道を開く」との意向表明にもならない、かつ、一般の日精会総会での同意も受けまして、役員会議において会長を仰せつかることになりました。その「この場をお借りして一言、会に寄せる思いなどを述べさせて頂きたいと存じます。中すまでもなく、日精会の志向いたしますところは、高齢化社会の中、それぞれの退職後を健康で楽しく過ごすことは勿論のこと、会員相互の親睦を図ることにあります。従って、会長の任務も、その目的実現のために尽くすことにあるかと心得ますが、何分にも非力でございますので、その重責をよく果たし得るか憂慮に堪えませんが、わが日精会は発足以来40有余年を数え、幸いに諸先輩方の「尽力によって、素晴らしい礎」と伝統が確立されております。これを踏襲しつつ、微力ではありますが、所期の目的に向け、全力を投じたき所存でございます。

薄井和彦



会員の皆様を始め、県高退連、古河労連日光支部、古河・日光事業所、UACJ日光製造所など関係団体におかれましても、何卒、「協力」ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



耳を傾ける出席者

労連日光支部：斉藤幸博執行委員長◆UACJ日光製造所：A

会長退任のご挨拶 日野亮治

平成21年4月より6年間、会長を務めさせて頂きました。これは一重に会員の皆さまと役員のご協力のお陰と、心から感謝し、御礼申し上げます。本当に有難うございました。また、やる気満々の強力役員の方々に囲まれての任期中、思い出に残る行事や、新しい取り組みがありました。これも、当時のスタッフの皆さんのお陰に他なりません。



主な内容ですが、21年度：「日精会たより」充実のため編集部長専任制。23年度：西日光所長との懇親会実現、東日本大震災被災地見学。24年度：和楽踊りで日精会専用プリント初設置、女性部発足。25年度：日精会40周年記念行事(祝宴、記念誌)。26年度：高退連20周年記念のグラウンドG大会を日光で開催。それと、日頃は「無沙汰しがちな遠地会員との懇親会も楽しく行なえたことなす。何と言っても重要な報告御礼は、この4月12日、日光市の貴重な人材「平木ちさこ」氏を県議会に送り出したことでした。会員の皆さま、有難うございました。末尾になりましたが、大きく若返った薄井和彦新会長の下、日精会益々のご発展を遂げるよう祈念しまして退任のご挨拶いたします。

総会終了後、恒例の懇親会となり、来賓の方々和やかに交流を深めることができました。会員も往時の若さを取り戻したように、話題に花を咲かせ、有意義な時間帯を過ごした。三浦高退連会長から、先の高退連主催グラウンドゴルフ大会が成功を収めたのは、日精会



和やかな懇親会

の全面的な協力があったからこそ、厚い感謝のこもったツイットの差し入れがあった。

わらくいけ

天気予報は生活に欠かせないが、気になる気象ならぬ事象として、日精会会員が、近年かなり脱会して行くのは、いささか心配な現実。当「会報」の囲みを毎号、ジッと観ていけば、自ずと気づく。日野前会長の憂慮もあり、新年度活動方針の最重要テーマに採択されたのが会員増を図ること。早目の方策を講じたいところ。例えば会員意識調査、各部の行事運営の見直し(従来通りで良いのかどうか)、あるいは、辞めた「元会員」から本心を聴かせていただくか。その日野前会長、そして富本前副会長には、まだまだ、というか、せめてもうチョット続けられてもという思いがある。加齢を理由に辞任というのも、何だか「セッターナイ」と感じるのには小生だけだろうか。◆一方で救われるのは、御一方とも新設の「相談役」を快く引き受けてくださったことだ。後を託されて、新たな航海に出たばかりの薄井丸にしてみれば、「舵取り」の相談を持ち掛けることができるという気軽さがある。◆その意味では、今春の県議選に見事当選された、平木ちさこ(日光市)・松井正一(鹿沼市)・船山幸雄(せうら市・塩谷郡)各氏におかれども、私たちが権者の声を気軽に受け止めていただき、生活に関わる諸政策の実現に向け、力強く前進されるよう望みたい。(S・I)



参加者募集

《歩こう会部》

裏磐梯ハイキング

デコ平湿原と百貫清水の遊歩道を往復 約二時間のコース

本部の動向

- ◎高退連新年会・・・ユーみくら 1月29日(木) (日野会長・太田副会長・篠原副会長・薄井副会長・石川編集部長)
- ◎なんたい地協第4回年次大会 3月23日(日) (日野会長・鈴木事務局長)
- ◎役員選挙委員会(猪瀬洋一・中村竹夫・矢部昌一)
- ◎役員会議 1月21日、2月20日、3月2・16日(合同会議および臨時役員会)
- ◎会計監査 3月2日(日) (富本副会長・福田会計・高久監査・斉藤監査)
- ◎定期総会および懇親会 4月1日(水)
- ◎新年度役員改選の会議 4月8日(水)

会則改訂について

相談役を設ける(第10条)ので会則を改訂。これにより、以下の各条は順に繰り下げる。また、一部表現を見直した。

第7条(役員の仕事) ◎会長は会を代行し、会務を総括する。
代行→代表 総括→統括

第10条(相談役) 本会の円滑な運営のために相談役を置き、諸事の助言を求められることができる。

第11条(慶弔) 慶弔金を贈る。慶弔→弔慰 慶弔金→弔慰金

第16条(効力発効) この会則は平成26年4月～平成26年4月→平成27年4月

県議選



勝った!!

日光に明るい“民主の灯”

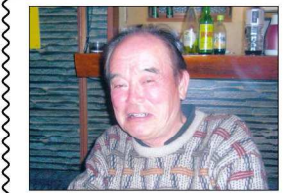


第18回統一地方選の県議選が4月12日に投票・即日開票された結果、日光地区においては、日精会の推薦候補である**平木まさ子**氏が、自民の一角を崩した上に、見事なトップ当選をも果たしました。これは一重に、会員各位の熱いご支援があったればこそだと思います。今後は、皆さんの声を背負う、有能な同氏の“活躍”に期待いたしましょう。

記者の耳目



3・11東日本大震災から丸4年もの歳月を経たのに、復興が迅速に進んでいくとは言えない。特に、東電福島原発の放射性廃棄物に、保管場所選定が迷走して、まだ決まらずだ。しかも、環境に敏感であるべき環境省が、先頭で福島県外へ、核拡散に近い言動を広めている構図は拙い。チエルノブイリやスリーマイルズの教訓を全く学んでいない。



あの人(3)の人

リレー素顔紹介 ③

小栗忠行さん (大沢西)

小栗さんは製糸の作業長で定年後、FCFの受付業務に従事されました。そこへ私も配属されお近づきに。2年ほどのローテーション勤務の合間には、共にカタクリの湯に浸る。歌は軍歌。♪こは御国を

から、その後一杯やりながら食事したり、談笑したものです。FCFが閉鎖になってからは、親しい仲間と忘年会とか新年会などに集まって語り合う、飲みな、飲み友だち、で、写真は昨年の忘年会の折のスナップです。割と無口な小栗さんですが、問われれば気さくに応えてくれます。気の置けない好かれるタイプですね。カラオケが得意で、持ち歌は軍歌。♪こは御国を

和話輪のコーナー 第3回

「五重塔を庭に、飾る!」

星 防人(大沢東)



実物は約70cmほど

素晴らしい塔は星さんの感性がこもる「細工」。出来映えに感服です。同氏の匠の技はこれに止まらず、オカリナを吹くは、日光彫は師範代、そして民謡が得意と来ては驚きです。スコッ! (編集責任者)

新入会員紹介

全国名水百選尚仁沢湧水を有する塩谷町が、保管場所指定に、猛反対なのは至極当然のことなのだ。

- ◎1月入会 八木澤清 (豊岡) ・ 歩こう会
- ◎2月入会 稲原信行 (遠地) ・ カラオケ
- ◎3月入会 なし
- ◎4月入会 田中博志 (遠地) ・ 歩こう会
- 倉澤 円 (所野) ・ 歩こう会

ご逝去

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

3月15日 澤田宗夫様 81歳 (鹿沼支部)

4月8日 我妻三男様 73歳 (森友・荻沢支部)